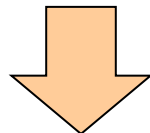


# 【総理研研究】山梨県の自然環境を活かした水稲高品質生産技術の開発(R3～R5)

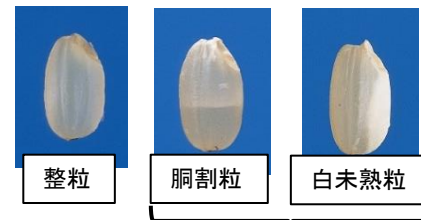
総合農業技術センター・衛生環境研究所

## 背景・目的

- ◎水稲は本県の基幹作物の一つ(県耕地面積の20%)であり、**収量や品質が優れ、市場の評価も高い**
- ◎昨今、温暖化により**品質が低下**しているため、高温対策が喫緊の課題
- ◎高温障害に効果があるとされている**ケイ酸の有効性を明らかにすることが必要**



- ・県内水稲産地の農業用水や土壌の**ケイ酸天然供給量を地域別に把握**
- ・天然供給量を考慮した**ケイ酸の施肥基準値を設定し、水稲の高品質生産技術を確立**



出穂期以降の高温で品質が低下

## 研究内容

### 小課題1 県内水稲産地における養分の天然供給量の実態把握

- ・農業用水中に含まれるケイ酸含量調査
- ・土壌中に含まれるケイ酸含量調査
- ・ケイ酸天然供給量MAPの作成

### 小課題2 天然供給量に応じたケイ酸施肥体系の確立

- ・ケイ酸資材別の水稲収量、品質への影響の検討
- ・低ケイ酸圃場における施用量・施用時期の検討
- ・天然供給量を考慮した施肥量・施肥基準値の設定
- ・栽培技術の産地実証



## 本研究における成果

- ・低ケイ酸圃場かつ高温登熟条件において水稲に対する**ケイ酸施用の有効性を確認**
- ・水田土壌・灌漑水中のケイ酸含量をマップ化することで**地域毎の特徴を把握**
- ・天然供給量を考慮した施肥量・施肥基準値の設定により**ケイ酸の施用量を「見える化」**

